



十一月(小)

しもつき

亢宿

十一月八日立冬の節より
月命癸亥八白土星の月
暗剣殺東北方

旧九月小
大十月

日	曜日	干支	行	事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	入	満	干	潮
1日	水	みづのとみ	七赤	灯台記念日、教育文化週間、新米穀年度、計量記念日、ハせん終り	十六	友引	のぞく	壁	ぢう日	6.02	16.47	19.05	9.34	12.37
2日	木	きのえ	ね六白	唐津くんち、甲子	十七	先負	みつ	奎	天おん	6.03	16.46	19.59	7.12	17.55
3日	金	きのと	うし五黄	文化の日、明治神宮例祭、東京足立血沼不動万灯祭	十八	大安	さだん	胃	●	6.04	16.45	20.57	8.46	18.19
4日	土	ひのえ	とら四緑	消費者センター開設記念日	十九	先勝	たいら	婁	十し	6.05	16.44	21.58	9.50	19.09
5日	日	ひのと	う三碧	下弦一七時三十分、世界津波の日、京都松尾大社上卯大祭	廿	赤口	とる	昂	神よし	6.06	16.43	22.58	11.25	19.38
6日	月	つちのえ	たつ二黒	己巳	廿一	先勝	やぶる	畢	天おん	6.07	16.42	23.57	13.04	22.58
7日	火	つちのと	み一白	己巳	廿二	友引	あやぶ	觜	母倉	6.08	16.41	—	13.46	14.11
8日	水	かえ	うま九紫	立冬一時三十分、世界都市計画の日、ふいご祭、京都伏見稲荷火焚祭、大つち、不成就日	廿三	先負	あやぶ	参	大みやう	6.09	16.40	0.55	14.11	14.33
9日	木	かのと	ひつじ八白	一の酉、世界平和記念日、一粒万倍日	廿四	赤口	ひらく	柳	十し	6.10	16.39	1.52	14.33	14.56
10日	金	みづのえ	七赤	京都嵐山紅葉祭、京都空也堂開山忌、一粒万倍日	廿五	先勝	とる	星	月とく	6.11	16.38	2.50	14.56	15.20
11日	土	みづのと	六白	一の酉、世界平和記念日、一粒万倍日	廿六	大安	おさん	鬼	●	6.12	16.37	3.48	15.20	15.52
12日	日	きのえ	いぬ五黄	京都嵐山紅葉祭、京都空也堂開山忌、一粒万倍日	廿七	先勝	とる	房	天おん	6.13	16.36	4.49	15.52	16.17
13日	月	きのと	み四緑	朔一八時二七分、三隣亡、旧十月大	廿八	赤口	なる	尾	天おん	6.14	16.35	5.53	16.17	16.53
14日	火	ひのえ	ね三碧	二の酉、熊本八代妙見祭、笠間稲荷神社秋大祭	廿九	先勝	おさん	箕	●	6.15	16.34	6.59	16.53	17.38
15日	水	ひのと	うし二黒	七五三、本州・四国・九州一般鳥獣狩猟解禁	三十	赤口	みつ	軫	大みやう	6.16	16.33	7.57	17.08	17.39
16日	木	つちのえ	一白	小つち、不成就日	三十一	先勝	たいら	角	大くわ	6.17	16.32	8.57	18.10	18.45
17日	金	つちのと	九紫	将棋の日、奈良談山神社例祭、市川中山法華経寺御会式	三十二	先勝	とる	氏	天おん	6.18	16.31	9.54	18.32	19.05
18日	土	かえ	たつ八白	豊川稲荷秋季大祭	三十三	先勝	とる	心	神よし	6.19	16.30	10.51	19.35	20.05
19日	日	かのと	み七赤	一茶忌	三十四	先勝	とる	斗	十し	6.20	16.29	11.54	20.45	21.58
20日	月	みづのえ	六白	上弦一九時五〇分	三十五	先勝	とる	牛	五む日	6.21	16.28	12.51	21.00	22.00
21日	火	みづのと	五黄	京都東本願寺報恩講(28日迄)、近松忌	三十六	先勝	とる	女	大みやう	6.22	16.27	13.48	22.00	22.59
22日	水	きのえ	さる四緑	小雪二時三十分、島根出雲大社神迎祭、とおかんや、十方ぐれ入り	三十七	先勝	とる	斗	十し	6.23	16.26	14.45	23.00	23.59
23日	木	きのと	とり三碧	勤労感謝の日、二の酉、熊本八代妙見祭、笠間稲荷神社秋大祭	三十八	先勝	とる	斗	十し	6.24	16.25	15.42	24.00	24.59
24日	金	ひのえ	いぬ二黒	一粒万倍日、不成就日	三十九	先勝	とる	斗	十し	6.25	16.24	16.39	25.00	25.59
25日	土	ひのと	み一白	防府天満宮裸坊祭、三隣亡、神道修成派教祖教霊大祭	四十	先勝	とる	斗	十し	6.26	16.23	17.36	26.00	26.59
26日	日	つちのえ	ね九紫	望一八時一六分	四十一	先勝	とる	斗	十し	6.27	16.22	18.33	27.00	27.59
27日	月	つちのと	八白	税関記念日、親鸞聖人忌、東京品川千体荒神大祭	四十二	先勝	とる	斗	十し	6.28	16.21	19.30	28.00	28.59
28日	火	かえ	とら七赤	税関記念日、親鸞聖人忌、東京品川千体荒神大祭	四十三	先勝	とる	斗	十し	6.29	16.20	20.27	29.00	29.59
29日	水	かのと	う六白	岡山最上稲荷火焚祭	四十四	先勝	とる	斗	十し	6.30	16.19	21.24	30.00	30.59
30日	木	みづのえ	五黄	岡山最上稲荷火焚祭	四十五	先勝	とる	斗	十し	6.31	16.18	22.21	31.00	31.59

※現行太陽暦は天保暦明治五年十一月九日に採用され、同年十二月三日から実施された。

に華美におごり、お祭り事になり、虚栄の観が強いのは、どういふものか。

「祭」三日は「文化の日」、戦前は四大節の一つで「明治節」といって、明治天皇の誕生日である。その遺徳をたたえ文明・文化の記念日として各地でいろいろな文化事業の催しが行われる。戦後、憲法の改正があつて呼称は変わった。

二十三日は「勤労感謝の日」で、勤労を尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝しあう日と制定されている。

この月の干支(えと)に「酉」の市(と)といつて、鷺(おとり)明神の祭礼が行われる。開運の神として大の酉(二)の酉、三の酉、と盛大であるが、三の酉まである年は、活気がありすぎて火事が多いといふ伝えられている。

この月の九日は「太陽暦採用記念日」である。これまでしばしば旧暦という言葉がでてきたが、いま現在われわれが使っている何月何日という暦は、明治五年の十一月九日に採用された太陽暦以来である。